

凝縮系物理学ゼミナール

日時：5月20日（水）13：30～

場所：理学部5号館 413号室

講演者：池田 浩章 氏

(凝縮系理論グループ)

「鉄ヒ素超伝導体における擬ギャップと超伝導」

2008年初頭に発見された新規鉄ヒ素超伝導体は、強磁性の代名詞である鉄が作る2次元平面がその超伝導の舞台であることもあり、非常に高い関心を集めた。その関心の高さは、わずか半年の間に、その関連物質が世界中で矢継ぎ早に発見されたことから明らかである。現在、その転移温度は銅酸化物に次いで高く、50Kを超える。

本講演では、自身の研究をふまえて、電子ドープ側の正常状態で観測された擬ギャップの起源、および、超伝導のペアリング機構について考察した後、最近の動向についても簡単にレビューする予定である。